

>>>> 特許登録「押し出し加工における3次元デッドゾーン形状の特定方法」 <<<<

県が平成25年1月23日に特許出願した「押し出し加工における3次元デッドゾーン形状の特定方法」が、平成28年4月8日に特許登録（特許第5909725号）されました。

アルミ合金等の押し出し加工では、ダイス孔の各所における材料の不均一な流出速度が原因で、加工品に曲がりやゆがみなど製品欠陥が発生します。本発明は、簡単な構成で、かつ確実に製品の加工時における曲がりの要因となる3次元デッドゾーン形状の特定方法を提供するものです。

金属材料の塑性変形を高精度に再現可能な粘土質のモデル材料を用いて、球体を必要最小限の個数だけモデル材料の外周に埋め込み加工前の素材とし、押し出し加工によるモデル材料の塑性流動に伴う球体の移動軌跡をステレオX線で撮影することで、押し出し加工品の曲がりの要因となる3次元デッドゾーン形状を短時間で簡単かつ確実に特定することを特徴とします。



>>>> 「ものづくりIoT研究会」の設立について <<<<

最近注目される技術のひとつに「IoT技術」があります。これは「Internet of Things」の略称で、日本語では「モノのインターネット」と呼ばれています。

従来、インターネットにはパソコンやスマートフォンなどの情報端末が接続されていました。IoT技術は世の中のあらゆるモノをインターネットに接続することによって、新しい価値を創造しようという技術で、今後おおいに発展が期待できる技術です。

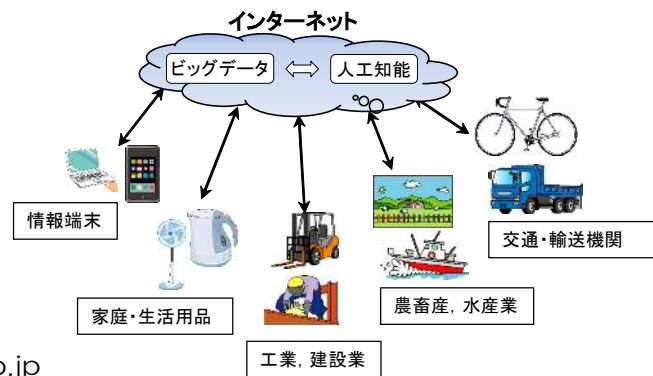
鹿児島県工業技術センターではこのIoT技術をものづくりに適用することで、県内企業の技術力向上、新商品開発、新規分野進出などを目的として、本年度から「ものづくりIoT研究会」を設立し、IoT技術の普及と活用を図ります。

現在、下記要領で会員を募集しています。入会ご希望の方は生産技術部 南までお問い合わせください。皆様のご入会をお待ちしております。

会 費：無料

対象者：ものづくりに従事している技術者、研究者、関連機関の方

連絡先：鹿児島県工業技術センター
生産技術部 研究専門員 南 晃
TEL:0995-43-5111
FAX:0995-64-2111
E-mail: minami@kagoshima-it.go.jp



IoT技術の概念図

>>>> 共同研究・受託研究に関するアンケート調査結果 <<<<

平成27年度に共同研究及び受託研究（16テーマ）を実施した企業等を対象にアンケートを実施し、満足度を調査しました。

その結果、全16社から回答があり、その中で貴重なご意見・ご要望も頂きました。調査内容及び調査結果は以下のとおりです。

《調査内容》

調査目的	中期業務計画（平成24～28年度）に基づき、共同研究・受託研究利用企業の満足度等を調査し、業務改善に立てる。
調査対象	16社
調査期間	平成28年5月10日～5月20日
調査方法	調査票を郵送
調査票	選択式及び記述式、8項目

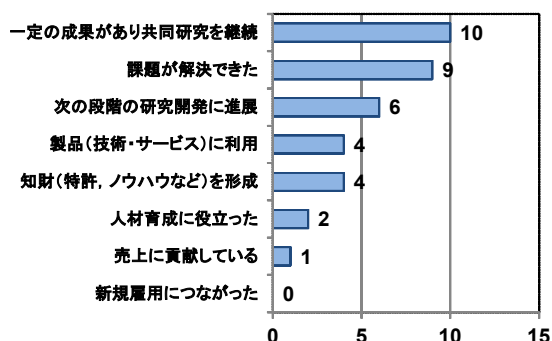
《調査結果》

Q1. 期待した成果が得られましたか



すべての企業が「非常に満足」、「満足」との回答でした。

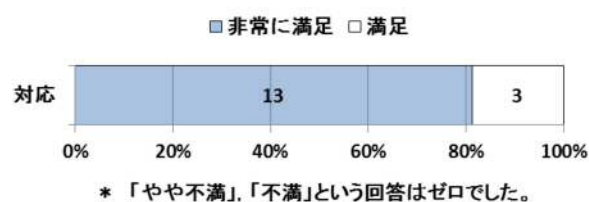
Q2. どのような成果がありましたか(複数回答)



「一定の成果があり共同研究を継続」、「課題が解決できた」と回答した企業が半数以上を占め、

また「次の段階の研究開発に進展」と回答した企業が6社ありました。

Q3. センターの対応について



すべての企業が「非常に満足」、「満足」との回答でした。

Q4. 今後も実施したいと思いますか



半数以上の企業が、今後も「積極的に実施したい」との回答でした。

そのほか、「自社内で解決できない問題、競合他社に相談できない問題の解決に今後も共同研究を実施したい」、「得られた成果が、新たな分野へ進出する基盤となった」等のコメントをいただきました。これらを参考に今後も業務の改善に努めて参ります。

工業技術センターでは、今年度も共同研究及び受託研究を行っています。研究の実施にご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

最後にアンケート調査に御協力頂きました企業の皆様に、感謝いたします。